

活性化のための刺激を美郷町に 町にゆかりの2名に美郷町産業大使を委嘱



町 は、町内事業所と首都圏などの事業者との連携推進や企業経営および経済活動に関する助言をいただくため、美郷町産業大使を委嘱しました。

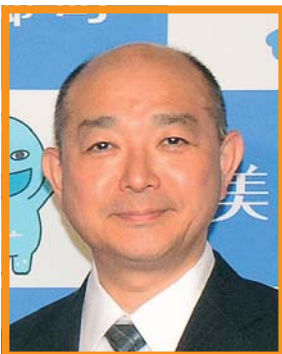
このたび、ナガイレーベン株式会社代表取締役社長の澤登一郎さん、株式会社龍角散代表取締役社長の藤井隆太さんのお二人に、美郷町産業大使へ就任していただきました。美郷町産業大使のお二人には、それぞれの活躍の場で美郷町に関するさまざまな情報発信、助言などの支援・協力をしていただく予定です。

また、委嘱式終了後には松田町長をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われ、美郷町の印象や地域活性化についてなど、さまざまなことについて語られました。



澤登 一郎さん

昭和31年生まれ、東京都出身。慶應義塾大学を卒業後、昭和55年に現在のナガイレーベン株式会社の前身であるナガイ株式会社に入社。昭和61年に取締役に就任して以降、常務取締役、代表取締役副社長を歴任する。平成7年から現在に至るまでナガイレーベン株式会社の代表取締役社長を務めている。



藤井 隆太さん

昭和34年生まれ、東京都出身。桐朋学園大学を卒業後、パリに留学。小林製薬株式会社、三菱化成工業株式会社(現:三菱ケミカル株式会社)を経て、平成6年に株式会社龍角散に入社。平成7年から現在に至るまで同社の代表取締役社長を務めている。

美郷町産業大使委嘱式 記念パネルディスカッション

首都圏からみた
秋田県や美郷町の印象
について

藤井大使

水や森、土壌といった素晴らしい環境資源があるのは強みだと思います。美郷町では生薬の原料を栽培していますが、どのような環境で栽培されているか、これがとても重要になってきます。栽培された原料の品質を見れば美郷町の環境の良さはすぐに分かります。



澤登大使

小学生や中学生の学力・体力が全国トップクラスですし、すごく優秀だなと感じています。ただ、

お人好し過ぎる性格なのが少し心配です。人柄と能力は素晴らしいので、もっと積極的に行動してもらうことが必要なのかなと思っています。



異業種との
連携に関する
美郷町事業者への提言

藤井大使

当社でもさまざまな業種と連携させてもらっていますが、連携先はほぼすべて自分で見つけてきています。自ら動くことで良い出会いが生まれれると思っています。ただ、やみくもに動くのではなく、

明確なビジョンや連携までのシナリオをもつ必要があります。また、自社の強みを見て、異業種の企業とどんなことをしてみたいのか、想像を膨らませていくことが大事です。いろいろな機会を見つけて、連携へのきっかけづくりをしてみてはいかがでしょうか。

澤登大使

美郷町には水、家畜、生薬など、恵まれた原材料があります。原料の生産だけではなく、原材料に新たな付加価値を加えていければ良いのかなと思います。例えば、さまざまな原材料を巻き込んだ加工品を作り、日本全国や世界に向けて情報を発信していくのはどうでしょうか。新しい発想をもつことも重要になってくると思います。

美郷町が
活性化するためには
どのようなことが必要か

藤井大使

何でも自前でやろうとせず、連

携先のものも積極的に使う姿勢も重要になるかと思っています。例えば、弊社で行っている新聞やテレビの広告を、「生薬を作っている美郷町」ということを発信するために活用することも一つの方法だと思っています。

澤登大使

仕事は当然ですが、楽しみもあると良いと思います。例えば、美郷町にも魅力的な食や娯楽がありますが、そういったものがあれば、「美郷町で頑張ろう」というエネルギーにもなり、美郷町の活性化にもつながっていくと思います。

(二部抜粋および編集)